

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：東 智徳

事業名	かんじょうよんごう くでんかつらちょう 環状4号線（公田桂町地区）	事業区分	街路	事業主体	横浜市	
起終点	自：横浜市栄区公田町 至：横浜市栄区桂町	延長	1.2 km			
事業概要 本路線は、3環状10放射道路の一つであり、本市郊外部を連絡する環状道路です。本市中心部へ集中する交通の分散を図り、円滑な交通流を確保すると共に郊外部の連絡を強化し、都市のバランスある発展に寄与します。						
H6年度事業化		S32年度都市計画決定 (H7年度変更)		H6年度用地着手		
				H15年度工事着手		
全体事業費	148億円	事業進捗率	24%	供用済延長	0 km	
計画交通量	31,500台/日					
費用便益分析結果	B/C (事業全体)5.4 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /130億円 事業費： /129.3億円 維持管理費： / 0.9億円	総便益 (残事業)/(事業全体) /706億円 走行時間短縮便益： /652.4億円 走行費用減少便益： / 42.9億円 交通事故減少便益： / 10.7億円	基準年 平成15年		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・国土・地域（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）等						
関係する地方公共団体等の意見 事業継続並びに整備の促進を要望します。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 渋滞緩和、交通利便性、市民の安全性の向上のために、道路ネットワークの形成の重要性が高まっています。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度までに41%の用地取得ですが、市境から天神橋までの区間の用地取得を重点的に進めており、天神橋拡幅工事等を重点的に進めます。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 市境から天神橋までの用地取得が進み、天神橋の工事に着手しており、平成20年度末に完成の予定です。						
施設の構造や工法の変更等 特になし						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	本市南部地域の環状型幹線道路として重要な路線であり、周辺の都市計画道路とあわせて、渋滞解消を図るなど、事業目的を達成させるため、早期に事業完了を図る必要性は変わりません。					
事業概要図	<p style="text-align: center;">環状4号線(公田桂町地区) L=1.160m</p>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。